■**俵屋宗達** 絵師。日本絵画に革新的なスタイルを開いて後世に多大の影響を及ぼした。

たわらやそうたつ

織田信長入京1568= この頃生まれたと推定される。

安土楽市楽座1577= **9歳** :

本能寺の変・1582=14歳 :

秀吉太政大臣1586=**18歳** :

秀吉全国統一1590=22歳 :

関白秀次事件1595=**27歳** :

この間、本阿弥光悦の従姉妹を妻にしたらしい。

関ヶ原の戦・1600=32歳 :

東本願寺創建1602=34歳 :すでに、***広島城主福島正則**が「平家納経」を修復するにあたって、その表紙・見返し図を補作するまでに実力を評価されており、

糸割符法始・1604=**36歳** :

徳川家康隠居1605=37歳 :「隆達節小歌巻」の版下絵を作るか。

江戸城完成・1606=38歳 :***10年上**の本阿弥光悦と、傑作「鶴下絵三十六歌仙和歌巻」はじめ、多くの和歌色紙を共作、

家康駿府退隠1607=39歳 :

支倉常長渡欧1613=**45歳** :この頃までに俵屋を名乗り、千利休の子少庵を招いて茶会を主催するほどになっていた。

徳川家康没・1616=48歳 :後水尾院が松屋興似に具合合わせの絵を描かせる際、参考に“俵屋絵”を見せるほど重用され、この頃に法橋の地位を与えられ、

この間、「風神雷神図屏風」「檜楢図屏風」「松島図屏風」「雲龍図屏風」などを描いたと考えられる。

利根川付替始1621=53歳 :***再建された養源院**に、杉戸絵「唐獅子図」「白象図」、襖絵「松図」などの傑作を描き、

元和大殉教・1622=**54歳** :完成した醍醐寺無量院本坊のために「芦鴨図」など障壁画描く。この頃、京都で俵屋の絵扇が流行。

徳川家光将軍1623=55歳 :

寛永禁書令・1630=62歳 :「西行法師行状絵巻」を模写。後水尾院から屏風絵の製作を依頼される。

糸割符拵大・1631=**63歳** :「源氏物語関屋澤標図屏風」を描く。

徳川秀忠没・1632=64歳 :

鎖国令Ⅱ・・1634=66歳 :この頃、「伊勢物語色紙」、

***最後の傑作「舞楽図屏風」**を描いて、

島原の乱始・1637=69歳 :この頃、没したと推定される。